

NEWS Release

November 2021

Modelia

『ESCENARIO SHIROKANE』 Photo: BAUHAUS NEO

ESCENARIOシリーズ3物件、海外建築賞WAF他多数入選・受賞

—受賞—

ESCENARIO FUDOMAE

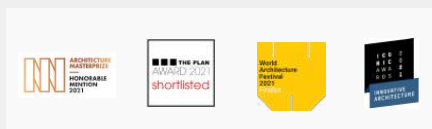
GERMAN DESIGN AWARD 2021 特別賞
ABB LEAF AWARDS 2020/2021 入選
ICONIC AWARDS 2020 WINNER受賞
ARCHITECTURE MASTER PRIZE 2020 特別賞



『ESCENARIO FUDOMAE』

ESCENARIO TODOROKI

ARCHITECTURE MASTER PRIZE 2021 特別賞
THE PLAN AWARD 2021 入選
WORLD ARCHITECTURE FESTIVAL 2021 入選
ICONIC AWARDS 2021 WINNER受賞



『ESCENARIO TODOROKI』

ESCENARIO SHIROKANE

ARCHITECTURE MASTER PRIZE 2021 Best of Best受賞
WORLD ARCHITECTURE FESTIVAL 2021 入選



『ESCENARIO SHIROKANE』

この度弊社が手掛けるデザイナーズマンションESCENARIOシリーズ『ESCENARIO FUDOMAE』、『ESCENARIO TODOROKI』、『ESCENARIO SHIROKANE』の3物件が上記記載の通り、世界最大の建築アワード「ワールド・アーキテクチャ・フェスティバル2021」(WAF)やリーフ賞を含む複数の賞の入選および受賞作品となりましたことをご報告致します。

弊社では佐々木龍一先生(設計)と事業の企画を行いながら海外の建築賞に積極的に応募しており、今回の入選・入賞以外にも数多くの実績を残しております。コロンビア大学を卒業後、ニューヨークの設計事務所でのご経験もある先生の作品は、意匠性に優れたファサードが特徴的です。景観に配慮しながらも街の新しいアイコンとして目を引く存在となります。

今後もデザイン性、機能性ともに良質で事業主・賃貸で住まれる方、どちらにも満足して頂ける作品をグローバルな視点を持ちながらつくり続けていきたいと考えています。

ESCENARIO FUDOMAE



GERMAN
DESIGN
AWARD
SPECIAL
2021

2021 Special mention
German design Award

ABLE OF
AWARDS 2020/2021

2020/2021 Short list
Leaf Awards



2020 Winner
Iconic Awards



2020 Honorable mention
Architecture MasterPrize

所在地:東京都品川区小山台1丁目
構造:RC造
規模:地上8階
用途:集合住宅・長屋
設計:S.A.A.O* (株式会社佐々木設計事務所、
合同会社YTRO DESIGN INSTITUTE)
企画:株式会社モデリア
株式会社エッセナーリオ



BAUHAUS NEO

CONCEPT

東京の目黒不動、桜の名所である「かむろ坂」沿いに建つ、19戸からなるRC造8層の賃貸集合住宅である。

敷地は、かむろ坂に面し奥に伸びるL字型形状で、配置計画はこの敷地形状に合わせて植栽や敷地内通路などで取り囲むように計画した。外部の壁面には、2面道路にそれぞれ同形状の正方形アルミ光輝材を各階反復して配置しており、四季折々の桜並木の表情、変化していく空の色、コンスタントに通過する人々等が映り込む。これによって建物が万華鏡の様に都市、自然環境、時間の流れに応じて外観が変化する都市のオブジェクトとして存在するようになる。また同時に、このプロジェクトは開口やアルミ光輝材などシンプルな正方形を多用し、建築とミニマルアートとの関係性を追求しているプロジェクトとして捉えている。

各住戸は、ワンルームからファミリータイプで、空間のひろがりや光、風の入り方など、多様な計画となっている。プレストレストコンクリート構造を採用し、梁型、柱型を露出させないことで、住戸内は自由度の高い空間構成を実現させている。また無駄をそぎ落としたシンプルなデザインとし、白色の壁とコンクリート打放しのコントラストを基調とした構成となっている。住まい手により、リビング、ダイニング、ベッドルームを変化させることが出来るよう意識した。一例に、自立壁によるウォークインクローゼットはコンパクトなパソコンブースともなりえるような計画をしている。

ミニマリズムを基調に、素材と空間による遊び心を加えることで、モノに支配されない豊かさ、持たない生活の形を提案した。
(設計 佐々木龍一/奥村 梨枝子)



Ryuichi Sasaki

ESCENARIO TODOROKI



2021 Short list
World Architecture
Festival



2021 Short list
The Plan Award



2021 Honorable mention
Architecture MasterPrize



2021 Winner
Iconic Awards

所在地: 東京都世田谷区等々力2丁目
構造: RC造
規模: 地上4階
用途: 共同住宅・長屋
設計: 株式会社佐々木設計事務所
企画: 株式会社モデリア
株式会社エスセナーリオ



CONCEPT

都心で唯一の溪谷がある等々力溪谷の近くに16戸からなる賃貸集合住宅である。周辺環境として等々力溪谷と何らかの呼応が出来るファサードの在り方が求められた。建物は幹線道路に面しており、道路から奥まったエントランスへ向かうアプローチが、谷を想起させる世界観へと引き込む空間となっている。

基本的に、用いる形態は原始的に容易に認知できる正方形とし、開口部、谷を象ったくぼみ壁などに展開して、ひとつの世界観を街の人々、居住者が彷彿できるように計画した。開口部、窪み壁の溶融亜鉛メッキ板は、その日ごとの天候状況、コンスタントに通過する自動車、自転車、人々を映し出している。

各住戸は、ワンルームから1ベッドルームタイプで、正方形に大きく象った開口部により空間のひろがりや光、風の入り方など配慮した計画となっている。西側の住戸からは、等々力溪谷が開口部を通して借景となっている。住戸は無駄をそぎ落としたシンプルなデザインと、多様で自由度の高い空間構成を組み合わせている。素材のコントラストによる表現とし、白色の壁とコンクリート打放しの構成としている。それぞれの住まい手により、リビング、ダイニング、ベッドルームを変化させることが出来る空間関係がある。また、居室内に部分的に囲まれた場を設けることで、ウォークインクローゼットやコンパクトなパソコンブースともなりえるような空間のきっかけを計画し、その壁にも正方形の開口を設け空間の広がりが持てるようにしている。

ミニマリズムを基調に、素材と空間による遊び心を加えることで、モノに支配されない豊かさ、持たない生活の形を提案している。
(設計 佐々木龍一)



ESCENARIO SHIROKANE



2021 Short list
World Architecture
Festival



2021 BEST OF BEST
Architecture MasterPrize



Takumi Ota Photography

所在地: 東京都白金5丁目
構造: RC造
規模: 地上5階
用途: 共同住宅・店舗
設計: S.A.A.O* (株式会社佐々木設計事務所、
合同会社YTRO DESIGN INSTITUTE)
企画: 株式会社モデリア
株式会社エッセナーリオ

CONCEPT

東京の中心、港区白金に建つ集合住宅・店舗・SOHOの複合ビルプロジェクトである。敷地は、古川の南に延びる五の橋通りの四差路角地に位置する。

五の橋通りは昔ながらの商店街の雰囲気を持つ通りでありながらも道幅は狭くはなく、建物ファサード2面を引きで見ることができる。それ故、街角のアイコン的な存在となるようデザインを意識した。壁式RC造5階建ての計画で、外装はコンクリート打放し壁でコンクリート面が揺らぎを見せるように渦巻状に所々シフティングしている。この揺らぐコンクリート面のファサードデザインにより、路上に落ちる影も変化に富み、季節、時間で様々な表情が見られる。また、エントランスに設けたステンレスバイプレーションの壁面も角度を持たせることで、天候や、四差路を行き交う車や自転車、人々を華やかに映し出す。白金の賑やかな街に相応しく、またその活気を映し出すひとつの世界を、街の人々や居住者が垣間見られるデザインとした。

建物構成は、1階に飲食店舗を想定するユニットを設け、2階から4階までは各階2ユニットの住戸とし、ペントハウスは4階に入り口を持つメゾネットタイプとしている。白金の街らしく、一つの建物内で様々な用途が発生している。

各住戸は、ワンルームから1ベッドルームタイプで、正方形に大きく象った開口部により空間のひろがりや光、風の入り方などに配慮した計画となっている。住戸は無駄をそぎ落としたシンプルなデザインと、多様で自由度の高い空間構成を実現させるため、1LDK以上の広さの住戸ではベッドルームとリビングルームの仕切りは、可動壁とし連続して一体的に使用出来ることも可能としている。また素材のコントラストを際立たせるため、白色壁とコンクリート打放し壁の構成としている。それぞれの住まい手により、リビング、ダイニング、ベッドルームを自在に変化させることが出来る空間関係となっている。

また天井高さを3.7Mとしたロフトスペース 付きメゾネットタイプは、SOHO利用も可能な空間とした。メインフロア、ロフトスペース、ミーティングスペース、キッチン、収納室、ユニットバス、屋外テラスにより多様な屋内外の空間を享受できる。ミニマリズムを基調に、素材と大らかな空間構成により、豊かさや居住者が主人公となるライフスタイルを提案している。(設計 佐々木龍一/奥村 梨枝子)



Takumi Ota Photography

Past Events

2017-2020



LEAF AWARDS 2017



ICONIC AWARDS 2017

GERMAN DESIGN AWARD 2020

建築家紹介



UNIT [S.A.A.O]*

コラボレーションとして2012年の商業空間を皮切りに、数々のプロジェクトを手掛けています。二人の明確な役割分担を作らず、その都度スタイルから築き上げる形をとっています。お互いが刺激を与え合い化学変化を起こすことで、決して一人では創造しえなかったクリエイティビティを發揮できるのがこのユニットの強みです。

奥村 梨枝子

【PROFILE】

1977年、大阪に生まれる。小学校をベルギー・ブラッセル、高校生活をオーストラリア・シドニーで過ごす。2000年、津田塾大学卒業。2009年、武蔵野美術大学卒業。2011年から個人事業として活動。2014年にATELIER O 一級建築士事務所を設立。2018年、合同会社 YTRO DESIGN INSTITUTE一級建築士事務所へ改組。欧州リーフ賞入選、WAF賞入選。ICONIC賞、ドイツデザイン賞など多数受賞。一級建築士・宅地建物取引主任者・武蔵野美術大学非常勤講師、日本大学非常勤講師。

奥村 梨枝子

佐々木 龍一

【PROFILE】

1970年、東京都に生まれる。1994年にイリノイ工科大学建築学科卒、1995年にコロンビア大学大学院修士。卒業後はニューヨークAsymptote Architecture、久米設計を経て株式会社佐々木設計事務所に入所し、2006年から同代表取締役。SDレビュー入選、欧州リーフ賞入選、ICONIC賞、イギリスARアワード入賞、WAF賞入選、ドイツデザイン賞、グッドデザイン賞など多数受賞。一級建築士・米国家建築家協会国際会員・日本建築家協会会員・日本建築学会会員・英国王立建築家協会正会員。

佐々木 龍一

Modelia

株式会社モデリア

東京都知事免許（2）第95319号

〒163-0242 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル42F

TEL : 03-5909-5525 E-MAIL : info@modelia.jp

—SEE MORE



WEB上で弊社プロデュースのその他物件をご覧いただけます。
MODELIA CO.,LTD. ALL RIGHTS RESERVED